



OLD & NEW

古くて新しい

風呂敷LIFE

ただ一枚の布が变幻自在に大活躍 若者の支持を受け、人気復活！

布あるところ、私あり。世界中で私の仲間がありとあらゆるものを包んで大活躍しています。お隣の韓国では「ボジャギ」、トルコやパキスタンでは「ボーチャ」、中国では「包袱（パオフ）」…。日本語の私の名前は、そう、風呂敷です。このところ、あまり出番がなかった私ですが、最近、復活の兆し！ ただ一枚の布なのに、さまざまな形、大きさのものを自在に包める利便性が再認識され、さらには従来の古典柄に加え、デザイナーズブランドの風呂敷も登場して、古くて新しいファブリックとして、若い世代にも人気になっています。



関町リサイクルセンターオープン時から “究極のエコバッグ”として講座を開催

思い起こせば、不遇時代も現在も、変わらずに私に注目してくれたのが関町リサイクルセンターのボランティア講師の金子禎子さんです。施設オープン時から「風呂敷講座」を開催。現在も、出前講座やセンターのイベントで、私の使い方を広めてくれています。そのおかげで、私のことを知らなかった若いママたちも、すっかり私のファンに。ここだけの話、正しい結び方を知らない方も意外に多いのです。結び方の基本をたった二つ覚えるだけで何度でも再利用できる私は、いうなれば“究極のエコバッグ”。使い勝手のいいサイズの、お気に入りのファブリックで、エコでおしゃれな風呂敷LIFE、始めませんか。金子さんの「風呂敷講座」、お楽しみください。



ボランティア講師の金子禎子さん

LESSON START!

LESSON 1 サイズの基本

風呂敷のサイズの基本は幅（はば：横の長さ）であり、34cmを一幅、倍の68cmは二幅と言います。右図のように、包むものの大きさや用途に合わせて使い分けることができます。68cm（二幅）、75cm（二尺幅）が風呂敷のサイズとしては一般的。50cm（尺三幅）はバンダナサイズです。

※すべておおよそのサイズで表記しています。

230cm(七幅) 布団、ベッドカバー
200cm(六幅) 布団、ベッドカバー
175cm(五幅) 座布団、こたつ上掛け
128cm(四幅) 座布団、ソファカバー
105cm(三幅) テーブルクロス
90cm(二四幅)
75cm(二尺幅)
68cm(二幅)
50cm(尺三幅)
45cm(中幅) 金封

LESSON 2 結び方の基本

風呂敷を使いこなす基本の結び方は「真結び」と「ひとつ結び」です。

●真結び（一度結べば解けません、解きたいときは簡単に解けます）

① aを上、bを下に、② aをbに絡ませ、③ bをaに上から絡ませ、aを左に、bを右に引っ張る。④ 完成！風呂敷の隅を交差させる。手前から回す。

●ひとつ結び（真結びと併用するとバリエーションが広がります）

① 風呂敷の隅を持ちます。② 手前から輪を作るようにして、隅を輪の真ん中に通します。③ 完成！

風呂敷講座 INFORMATION

01 出前講座で

関びおよび「風呂敷講座」に参加したママたちから、感想をいただきました。

普通のリュックやペットボトル入れ、ポシェットなど、風呂敷一枚でさまざまな用途に使えることを知って、目からうろこでした。

意外と頑丈で、柄のセンスでこんなに素敵に！ プレゼントのラッピングに使えるものがあり、今度やってみたいと思いました。

実際に教えていただかなかつたら、きっと知ることも活用することもなかったです。災害時にもとても役に立ちそうです。

風呂敷？ お年寄りを使うものでしょ？なんて思っていました。正直こんなに利便性が高いものだと知りませんでした。

包めないものがないくらい自由自在に扱えて、がぜん風呂敷が欲しくなりました。父へのお酒は、この包み方でプレゼントします。

02 センターまつりで

3月11日（日）、関町リサイクルセンターのセンターまつりで、「風呂敷講座」を開催しました。興味のある皆さんは、ぜひお越しください。先着50名までに30種の風呂敷の包み方がプリントされたエコ風呂敷をプレゼント！

※詳細は、関町リサイクルセンターまでお問い合わせください。



平成30年度「こどもクラブ」メンバー募集！ 工作や観察、実験などを通じて 自然やエコの大切さを学びましょう

練馬区立リサイクルセンターでは、自然やエコについて学ぶ「こどもクラブ」の平成30年度メンバーを募集しています。スローガンは「楽しく遊んでエコロジー！」。月1回土曜日の午前中に、ボランティア講師が中心となって、工作や観察、実験などオリジナルのプログラムを展開します。自然やエコの大切さを、楽しみながら学べると大好評。奮ってご応募ください。

資格	小学生(新1年生からOK)
参加費	無料(一部材料費あり)
期間	平成30年4月～平成31年3月
活動日	月1回(原則第3土曜日)10:00～12:00 ※8月:4センターお休み、12月:豊玉・大泉お休み
定員	関町・春日町・豊玉・大泉の各リサイクルセンターで各20名

申込 応募者多数の場合は抽選となります。
●往復はがきの場合
①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④性別 ⑤年齢(新学年) ⑥学校名 ⑦保護者名(ふりがな)を記入のうえ、ご希望のリサイクルセンター(宛先は裏面)まで。
●ホームページの場合
練馬区立リサイクルセンターホームページ [https://www.nerima-rc.jp/]よりご応募ください。

申込開始日
3月1日
申込締切日
3月24日

◎平成29年度に実施したエコプログラムの一例

- ・緑のカーテンの役割と野菜の植え付け
- ・小型充電式電池のリサイクル
- ・太陽電池で動くレーシングカー作り
- ・冬の星空体験
- ・気象予報士に学ぶ天気の話
- ・石神井公園で探鳥会
- ・ダンボールコンポストで堆肥作り
- ・紙すき体験
- ・牛乳パックで作るランタン
- ・地物野菜で作る料理
- ・クリスマスリース作り
- ・しめ縄作り



大泉学園駅南口から徒歩5分、マンションに囲まれたこの緑地は江戸初期から続く旧名主の屋敷跡です。ケヤキを中心とした巨木が約40本、空に向かって枝を広げています。取材時は昨年12月上旬、ケヤキやミズキ、モミジなどが紅葉真っ盛り。そんな中、ひときわ高くそびえているのが、シンボルの「石庭の森緑地の大ケヤキ」です。樹高22m、幹周3.4m、推定樹齢250年。平成23年11月に練馬区地域景観資源に登録されました。そして、広い前庭に目を移すと合計300トンという多数の庭石が目飛び込んできます。この景観が「石庭の森」という緑地の名前に由来しているのです。実は、この緑地はリサイクルの観点からも興味深い特徴があります。遊歩道に使われている丸い敷石には、昔懐かしい郵便ポストの台座が使われています。もうひとつは、蛇籠(じゃかご)です。これは、鉄線で編んだ長い籠に碎石を詰め込ん

だもので、河川の護岸や斜面の補強などに使用されるもの。緑地内にあった大谷石塀の破片や玉石をリサイクルし、昆虫や小動物など多くの生き物の棲家となるように設置したのも。蛇籠は全部で16個。この中に棲みついた昆虫を求めて野鳥が集まり、緑地として成熟していくのです。この豊かな自然を守るため、地域の4町会の皆さんが「石庭みどり会」を結成、その管理運営に努めています。近隣の小学校と連携し、「七夕まつり」「落葉あつめ」「椿の観察会」などの活動を精力的に行い、地域のコミュニティの場として親しまれています。自然を愛する人々を守るエコスポット、ぜひ一度お出かけください。

取材・原稿
ゆずりは取材グループ

